

【 概 要 】

平成22年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【フラット35利用者編】（第1回）

1. 調査の概要

調査対象期間(平成22年3月～平成22年6月)に民間住宅ローンを借入した方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査(6/14～6/25)を実施し、そのうちフラット35利用者161件について集計を行ったものである。

回答数:161件

2. 調査結果の主なポイント

(1) フラット35を知るきっかけは、インターネットが第1位

- ・ フラット35を知るきっかけは、「インターネット」の影響が28.0%と最も大きい。「住宅・販売事業者」は23.6%と前回調査の第1位(44.7%)から今回は2位に後退した。フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答との比較では、「新聞記事」、「住宅情報誌」「雑誌」「テレビ」等の各種メディアの影響が大きい。<p2>
- ・ フラット35の利用を決定するに際しては、「住宅・販売事業者」の影響が21.1%と最も大きい、前回調査の37.2%からは減少している。次いで、「インターネット」が18.6%と前回調査の17.0%から増加しており、フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答と比較してもインターネットの影響が大きい。<p3>

(2) フラット35を利用した理由は、「将来の返済額を確定」

- ・ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が48.4%と最も多く、次いで「金利が低い」が46.6%、「フラット35S(優良住宅取得支援制度)を利用したい」が30.4%と上位3位を占めている。<p5>